

NCGM PRESS



国立研究開発法人
国立国際医療研究センター病院

医療連携ニュース

National Center for
Global Health and Medicine Press

Vol.6
November



第2回「NCGM 医療連携の会」開催

第

2回目となる「NCGM医療連携の会」が、令和元年6月19日に京王プラザホテルで開催されました。今回は会場を分けて最初に講演会、続いて懇親会の二部構成となりました。

講演会では、「気管支サーモプラスティについて」飯倉元保第5呼吸器内科医長、「麻疹・風疹 診療ポイント」忽那賢志国際感染症対策室医長、「国際診療部の紹介」杉浦康夫国際診療部長の3つの演題の発表がありました。

NCGMの特色を表すどの演題についても、熱心に聞く出席者の姿が見られました。続いて、徳原真医療連携広報管理部門長より、NCGMにおける医療連携の取り組みについての説明がありました。

会場を移動し、丸岡豊副院長の司会で懇親会が行われました。国土典宏理事長、杉山温人病院長の挨拶のあと、ご来賓の東京都医師会副会長の角田徹先生、新宿区医師会会長の平澤精一先生からご挨拶をいただきました。原徹男副院長による乾杯の後、ご参加の皆さんの間で和やかな歓談が続きました。今回は連携登録医を中心に300名を越える参加があり、NCGMの職員を含め出席は約500名となりました。ファジロフ・ガイラト駐日ウズベキスタン大使をはじめ、イタリア、イラク、イラン、タイ、モンゴル、デンマークと多くの大使館関係者の参加もあり、NCGMらしい国際色豊かな雰囲気の中で会は進み、最後は梶尾裕副院長の挨拶により散会となりました。



新任のご挨拶



呼吸器内科
診療科長

放生雅章

皆 様、こんにちは、というか、お久しぶりで
す。令和元年6月16日より呼吸器内科診
療科長として3年ぶりに医療センターに戻
ってきた放生雅章です。

私は当院がまだ国立病院医療センターという名であ
った昭和62年に研修医として働き始めてから、留学
などで少し抜けた時期もありますが、約30年間この
病院の一員であり続けました。3年前にNTT東日本
関東病院に異動しましたが、結局はゆえあってこの病
院に戻ってくることになりました。長年過ごした故郷
のような職場に戻ることが出来て、居心地の良さを感じ
ていますが、初めて外からこの病院を客観的に見る
ことが出来たため、その経験を活かして、呼吸器内科、
さらにはこの病院がさらに地域の皆様の役に立てるよ
う頑張りたいと思っております。

私自身は呼吸器内科でも、特に気管支喘息や慢性閉
塞性肺疾患（COPD）などの慢性気道疾患や、感染
症を得意分野としています。当科は歴史的にも全国有
数の気管支喘息診療のメッカであり、私もその伝統を
受け継ぎ、わが国の喘息予防・管理ガイドラインの作
成委員も務めております。当科では難治性気管支喘息
患者に対する気管支サーモプラスティ療法を積極的行
っており、日本でも最も症例数の多い施設でありま
す。難治性喘息症例だけでなく、慢性咳嗽で治療が困

難な症例についても経験が豊富なので、なにか症例が
ございましたらぜひお気軽にお声掛けいただければ幸
いです。どうぞよろしくお願いたします。

当科は国内の呼吸器内科としては、大学病院に引け
を取らないレベルのスタッフ数と、各分野における専
門家をそろえています。肺結核や肺非結核性抗酸菌症
については山手線内最大のベッド数を有しており、咯
血などの症例に対しても積極的に介入療法を行ってい
ます。悪性腫瘍に対しては、完全胸腔鏡下手術の適応
判断から化学療法と免疫療法併用療法などの最新治療
まで提供するとともに、複数の合併症をもった治療に
難渋する肺がん患者も積極的に受け入れています。進行
性の間質性肺炎に対してもクライオバイオプシー等も
含めた精密な診断法と先進的な薬物療法を用いた積
極的な診療を提供しています。また関東地方では実施
施設が限られている硬性気管支鏡による気道狭窄・食
道気管気管支瘻などの各種気道インターベンションも
積極的に実施しております。

紹介してきました通り呼吸器内科は、高齢者の誤
嚥性肺炎などのcommon diseaseから稀少疾患まで、
どのようなレベルの疾患にも対応できる、地域の皆様
のニーズに基づいた診療活動を実践していきたいと考
えておりますので、ご支援のほどよろしくお願申し
上げます。



泌尿器科医師

野宮 明

み なさん、こんにちは。2019年7月より泌
尿器科医師として着任いたしました、野宮
明と申します。2002年に大学卒業後、同
年5月から1年間医局からの派遣で泌尿器科研修医と
して勤務させていただいたことがあり、17年ぶりの
勤務となります。当時とは病棟・外来棟が変わり、ま
た勤務環境も当時と比べて大きく変わっており、あら
ためて当院が日本の医療の先端を進んでいる病院だと
実感しております。

小生は当院勤務後、東大病院、武蔵野赤十字病院、
東大病院、三井記念病院、東大病院の順に勤務させ
いただき、泌尿器科全般の診療のほかに間質性膀胱炎
の診療を専門とさせていただきます。

間質性膀胱炎は一部が唯一泌尿器科疾患の中で難病
に指定されております。あまり聞いたことがない先生
が多いかと思いますが、自己免疫などの免疫機序の異
常によると考えられているハンナ型間質性膀胱炎と知
覚異常によると考えられている非ハンナ型間質性膀胱
炎の2タイプに大別されます。前者は膀胱内にハンナ
病変と呼ばれる炎症を主体とした粘膜のびらんを伴っ
ており、膀胱痛、尿意切迫、頻尿の訴えが多い疾患

で、膀胱水圧拡張術の際にハンナ病変を電気メスで焼
灼・切除すると症状が改善します。ループス膀胱炎の
ように膠原病で同様の症状を呈する患者さんもいらっ
しゃいます。一方で後者は膀胱の知覚伝達路の異常が
病態として想定され、膀胱をターゲットにした治療は
奏功しないことが多く、治療に難渋することが多いで
す。いずれの間質性膀胱炎も病態が解明されておらず、
対症療法に終始しているのが現状です。また、泌尿器
科医師の中でも間質性膀胱炎を診療できる医師が少な
く、少数の専門医に患者さんが集中しております。

7月に着任後、皆様のご協力のおかげで早々に泌尿
器科に間質性膀胱炎の専門外来を開設させていただき、
徐々に紹介患者さんも増えつつあります。今後は、間
質性膀胱炎の治療に関連した自主臨床試験も企画し、
患者さんの治療の選択肢を増やすと同時に、エビデ
ンスの確立に携わることができればと考えております。
皆様のまわりにも難治性の膀胱炎症状が持続している
方がいらっしゃいましたらご相談いただけますと幸い
です。

皆様のご指導・ご鞭撻ほど、何卒よろしくお願申
し上げます。

Breaking news

「The World's Best Hospitals 2019」で
Top100にランクイン

「The World's Best Hospitals 2019」はNewsweek誌によるランキングで、2018年10月から2019年1月に、米国・英国・ドイツ・フランスなど11カ国の主に100床以上の病院に対し、on-lineサー

veyを通して医師や病院経営者などの医療従事者の推薦や保険会社による患者調査の結果に基づいて行われました。当院はTop100にランクインし、国内では第10位となりました。

Best Hospitals 2019 - Japan

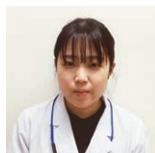
1	The University of Tokyo Hospital
2	St. Luke's International Hospital
3	Kurashiki Central Hospital
4	Kyoto University Hospital
5	Juntendo University Hospital
6	Osaka University Hospital
7	Kameda Medical Center
8	Kyushu University Hospital
9	Teikyo University Hospital
10	NCGM Central Hospital

©2019 NEWSWEEK

今月の旬菜

なつめ

Season of this month



管理栄養士

佐々木文乃

秋の果物や種実を使った、中国や東南アジアなどでデザートに食べる2種類の甘いスープです。

なつめ(棗)は薬膳や漢方薬でよく利用される果物で、9月ごろに収穫されます。料理やお茶、薬に使いますが、ドライフルーツや蜜漬けはそのまま食べることもできます。

なつめには、体の中のナトリウム(塩分)や水のバランスを整える作用があるカリウムが含まれます。他にも、皮膚や粘膜を健康に保つために必要なビタミンB群やパントテン酸なども含まれており、美容効果も期待されます。漢方薬では、体を温めたり、胃や腸を

補修する働きがあるとされています。蓮の実は8月から9月ごろに収穫され、なつめ同様カリウムを多く含みます。味はほくほくとした食感でゆでた落花生のような風味です。

〈なつめと秋の果物の甘いスープ〉では、梨のほかにも白きくらげや百合根などを入れてもよいです。これらの食材はすべて肺や喉を潤すとされており、空気が乾燥し始める秋にぴったりのデザートです。

〈なつめミルク〉は独特なやさしい甘さで、暑い季節には冷やしてもおいしく食べられます。皆さんも是非一度味わってみてください。



なつめミルク

● 1人分のエネルギー 155kcal、塩分 0.2g

材料 (2人分)

蜜漬けなつめ…10個
砂糖…10g
水…150ml
牛乳…300ml

作り方

- 1 小さな鍋に水となつめと砂糖を入れ、火にかける。沸騰したら弱火にして20分ほど煮る。
- 2 牛乳を入れ、牛乳が温まったら完成。

なつめと秋の果物の甘いスープ

● 1人分のエネルギー 119kcal、塩分 0.0g

材料 (2人分)

乾燥なつめ…6個
蓮の実(乾燥)…30g
梨…小½個
砂糖…15g
水…400ml

作り方

- 1 梨は皮を剥ぎ、一口大に切る。
- 2 鍋に蓮の実となつめと水を入れ、火にかける。沸騰したら20分ほど煮る。
- 3 梨と砂糖を入れて5分ほど煮る。

この1年の
絵画前衛芸術家
草間彌生

© YAYOI KUSAMA

みんなは平和を求めている 2013

Yayoi Kusama

幼少より水玉と網目を用いた幻想的な絵画を制作。1957年単身渡米、独創的な作品と活動はアート界に衝撃を与え前衛芸術家としての地位を築く。1973年に帰国後も全世界を飛び回り活躍中。美術作品の制作発表を続けながら小説、詩集も多数発表。2016年に文化勲章授賞。2017年より、ワシントンDCのハーシュホーン美術館彫刻庭園を皮切りに、北米ツアーが巡回中。



 Nursing Information



「退院後の生活についての相談窓口をご利用下さい!」

現在当院では、入退院支援センター・看護相談・退院調整で現在8名の専従看護師を配置しています。

入退院支援センターでは、入院前から退院後の療養生活・退院後についての相談ができるよう、看護師が入院前面談を行っています。外来受付時間内には、受診相談を専門に受ける看護師が、お困りの方への対応を担当しています。来院された方に笑顔でお声をかけ、患者サービスに努めております。療養生活についての相談をタイムリーにお受けし、地域関係者の方とスムーズに連携・調整が図れる

よう、まずは院内多職種の調整役を担っています。必要時は、地域関係者の方々に、入退院支援センター・退院調整の看護師からご連絡させていただくこともあります。

今後も、患者さんが退院後に安心して安全・安楽に療養を続けられるよう、地域の皆様との連携をさらに強化していきたいと思えます。地域の皆様と顔のみえる関係が築けるよう、努めてまいります。今後ともよろしく願いいたします。

患者さんにも相談窓口のご利用をどうぞご紹介ください。



診療時間・アクセス

- 外来診療時間** 8:30~17:15
- 初診受付** 紹介状が無い場合 8:30~11:00
紹介状が有る場合 8:30~14:00
- ただし、形成外科、産婦人科、神経内科、整形外科、精神科、リハビリテーション科、心療内科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、消化器内科の11科および結核(疑いも含む)については「11時までの受付」となっています。
- 休診日** 土・日・祝日・年末年始
- アクセス** 都営地下鉄大江戸線 若松河田駅より徒歩5分
東京メトロ東西線 早稲田駅2番出口より徒歩15分
JR大久保駅 又は 新大久保駅より都営バス新橋行、
JR新宿駅西口より都営バス医療センター経由女子医大行
「国立国際医療研究センター前」下車
- HP** <http://www.ncgm.go.jp/>

